

りんご殺ダニ剤の選択について

○：効果ある    △：効果やや劣る    ×：効果ない

薬剤名	倍率	基準	回数	IRAC コード	種類に対する効果		ステージに対する効果		
					赤ダニ	白ダニ	卵	幼若虫	成虫
ピラニカ水和剤	2000	21 日前	1 回	21	○	×	○	○	○
カネマイトフロアブル	1000	7 日前	1 回	20	○	○	○	○	○
マイトコーネフロアブル	1000	前日	1 回	20	○	○	△	○	○
オマイト水和剤	750	3 日前	1 回	12	○	○	○	○	○
コロマイト乳剤	1000	前日	1 回	6	○	○	○	○	○
ダニゲッターフロアブル	2000	前日	1 回	23	○	○	○	○	△
スターマイトフロアブル	2000	前日	1 回	25	○	○	○	○	○
ダニサラバフロアブル	1000	前日	2 回	25	○	○	○	○	○
ダニコングフロアブル	2000	前日	1 回	25	○	○	○	○	○

① 殺ダニ剤ローテーション 2018【基本パターン】

- ➡ 7月中旬（7/15～20 頃）：ダニコングフロアブル（中期的抑制効果あり・残効 14 日程度）
- ➡ 8月上旬（8/1～5 頃）：コロマイト乳剤 1,000 倍（速効的・成虫に効果高い・残効短い）
- ➡ 8月中旬（8/15～20 頃）：オマイト水和剤 750 倍（成虫に効果あり・残効やや短い）

② ダニサラバ・スターマイト・ダニコングは同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、いずれかを年 1 回のみ使用とする。

③ ダニコング F は成虫に対してやや遅効的效果を示す。散布 7 日後以降に効果が発現する。

殺ダニ剤散布パターン

散布時期	基本	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
6月中旬	—	ダニゲッターF	—	—	—
7月上旬	—	—	ダニゲッターF	ダニコングF	ダニコングF
7月中旬	ダニコングF	ダニコングF	ダニコングF	ダニゲッターF	コロマイト
8月上旬	コロマイト	コロマイト	コロマイト	コロマイト	ダニゲッターF
8月中旬	オマイト	オマイト	オマイト	オマイト	オマイト

- ➡ パターン①：6月中（下）旬にダニゲッターF 散布 ⇒ 7月中旬以降は基本パターン同様
- ➡ パターン②：7月上旬にダニゲッターF ⇒ 7月中旬以降は基本パターン同様
- ➡ パターン③：7月上旬にダニコングFを繰り返し散布 ⇒ 7月中旬に異系統のダニゲッターFを散布し、8月は基本同様
- ➡ パターン④：7月上旬にダニコングFを繰り返し散布 ⇒ 7月中旬にパンチ力のあるコロマイトを散布し、8月上旬にダニゲッターF・8月下旬にオマイトを散布